

ダニに御用心

最近の住宅の居住性はずいぶん良くなってきましたが、ダニにとっても住みやすい環境と なっているようです。昔はダニといえばネズミに寄生するイエダニを指していましたが、 近頃では次に紹介するようなダニが問題となっています。これらのダニは非常に小さいので、 被害を受けるまで意識されず、また被害を受けても分からない例も多くあります。しかし、 あまり神経質になるのも考えものです。ダニはどこにでもいるものですから、日頃からダニ の発生を少なくするよう心がけましょう。

家屋内の主なダニ

— ダニを食いものにするダニなど、ダニ社会は複雑 —

① コナダニ



(生態)

- 成虫は0.3mm～0.7mmで、乳白色不透明で大量発生すると白い粉のように見える。
- 米・麦などの穀物、豆类、チーズ、チョコレート、みそ、干魚など貯蔵食物に多く発生する。また、比較的新しい畳に大発生することがある。
- 気温25℃湿度75%位が最も発生しやすい。

(被害)

- 食品に繁殖し、食品を変質させるなど、人に不快感を与える。
- 人を刺したりしないが、大量に発生すると、コナダニを補食し人を刺すツメダニが発生することがある。

② ヒョウヒダニ



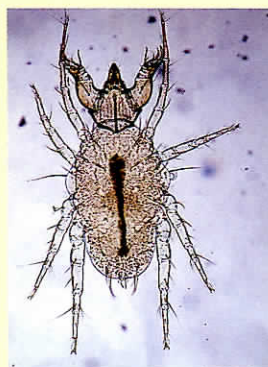
(生態)

- 成虫は0.2mm～0.4mmで、乳白色不透明。
- 人のフケやアカ、食べ物カスなどを食べ、畳、じゅうたん、布団などについており、ほこりの中に多くみられる。
- 気温25℃湿度70～80%が最も発生しやすい。

(被害)

- アレルギー体質の人には、ヒョウヒダニ自体及び死骸や糞がアレルギーとなつて、ぜん息やアトピー性皮膚炎をひきおこすことがある。
- コナダニと同様、大量に発生すると、ヒョウヒダニを補食し人を刺すツメダニが発生することがある。

③ ツメダニ



(生態)

- 成虫は0.3mm～0.8mmで、乳白色～淡黄橙色。
- エサはコナダニ、ヒョウヒダニやチャタテムシで、近づいてきたエサを捕らえ、刺し口から唾液を注入し、動けなくした後体液を吸う。
- 気温25℃～30℃湿度70%位が最も発生しやすい。

(被害)

- 吸血はしないが、皮膚内から体液を吸う。刺されると小さな紅斑ができ、かゆみをとまなう。
- 刺す時に唾液を注入するのでアレルギー体質の人は特に被害が大きい。

家屋外のダニ

— 最近話題の目立つダニ —

① タカラダニ



(生態)

- 成虫は1.0mm～1.2mmで、黄橙色～赤色。
- 毎年5月～6月頃の晴天時、コンクリート造の建物の壁や屋上、コンクリートブロックの上などで集団で見つかり問題になる。暑い所が好きのため、水をまくと集団は解散する。
- カビやコケ類の孢子、イヌムギなどの雑草の花粉などをエサにしていると考えられている。

(被害)

- 真っ赤な色をしており、人に不快感を与える。また、洗濯物などを汚すことがある。
- 人を刺すかどうかは、はっきりしていない。

家屋内のダニの発生予防方法・駆除方法

— 乾燥と掃除がポイント —

- 畳・じゅうたん・寝具類は毎日、掃除機でこまめに掃除をします。
- 目安として畳1枚1分以上、寝具類は表と裏の両方で2分以上掃除機をかけてください。
- アレルギー体質の人が使用する寝具類は、特に念入りに掃除機をかけてください。



- めいぐるみ、布団、毛布などは日に干したり布団乾燥機を利用し、湿気を取り除くよう心がけます。また、畳やじゅうたんも年に1回くらい、日に干すなどの処理を行います。日に干した後は、ダニの死骸などを掃除機等で除去します。
- 寝具類を干す場合、黒いカバー（薄いビニール袋等）を掛けると寝具内部の温度が50℃以上になり効果があります。

- 換気扇やエアコン、除湿器は室内の湿度を下げるのに有効です。風通しを良くするだけでも効果があります。加湿器を使用する場合は湿度を60%以下になるよう調節します。
- 畳の場合、充分な天日乾燥の他、乾燥車による加熱・乾燥や高周波処理が有効で、さらに薬剤の散布、防虫紙の併用が効果的です。駆除した後は、ダニの死骸等を掃除機で除去します。
- 寝具類などは、洗濯するのも効果的で、えりカバー、まくらなどは、洗濯しやすいものを選びます。（ダニ防止用布団カバー、枕カバーも市販されています。）



お問い合わせ先